

キーパーソンに聞く

未来につながる 地域デザイン

町の特色を生かし地域を活気づける取り組みを紹介!



新開発の人気商品。右端が「おもいのたけチョコレート」(ホワイト・ミルク各5粒入り500円)。同社オンラインショップや、高梁市図書館、近隣の道の駅などで購入できる



天然素材の風合いが魅力の竹皮容器は花器や雑貨入れとしても人気



地元の福祉施設と提携して広大な竹林を管理。就労支援にもつながっている

新発想で竹の魅力を発信し地域の活性化につなげる

そのひとつが、チョコレートに高梁産のタケノコパウダーと『高梁紅茶』の茶葉を配合した「おもいのたけチョコレート」だ。タケノコ由来の食物繊維に、カカオと紅茶

方で、新分野での竹の活用法も模索。容器メーカーとしての枠にとらわれない柔軟な発想で、さまざまな製品開発に取り組んでいる。



PROFILE

まつもと さとし ●常務取締役として本社を管理する傍ら、地元の小学校に竹を使ったランプシェード制作体験の指導に赴くなど、竹の魅力発信に尽力する。

DATA

【問い合わせ先】TEL.0866-22-5511
【HP】<http://www.takenokawa.com/>

ハイクオリティーな 竹皮容器を多数考案

高梁市に本社を構える『株式会社松本』は、天然の竹を使つた竹皮容器の製造・販売を手掛ける老舗メーカー。竹の皮を編み込んだ食品容器や抗菌性を生かし、デザイン性の高いオリジナル製品を数多く考案している。その一

「単に“売れる商品”を作ることだけが目的ではないんです」と松本さん。「竹の価値が見直されて需要が増えれば、竹林管理のための雇用も生まれ地域活性の一助になります。また、竹林を整備すれば、土砂崩れを防止することができます。また、竹の魅力を次世代へ伝えていくためにも、さらなる開発を進めていきたい」と意気込みを語った。

竹と歩んで100年超の老舗容器メーカー 新たな竹の活用法を生み出す